

於て着手すべきであつた教育を小學校に於て遅れて着手するといふやうな場合も起つて來ませう。

斯かる不便、不利を除くためには何うしても幼児教育を基礎として、そこから形式的にも實質的にも十分連絡のある案を立て、行かなくてはならぬであらうと思ひます。中學校は中學校、小學校は小學校、幼稚園は幼稚園といふやうにバラ／＼になつてゐるのでは、とても有機的に連絡のある一貫した教育は行はれ難いのであります。

世間にも大分小學校と幼稚園の連絡問題に思ひを致して居る人があるやうで甚だ結構であります。が、それらの人々は主にも學科其他の實質的の方面にのみ重きを置きすぎてゐる憾みがないでもありません。この實質的の方面の連絡といふことの必要であることは無論であります、それにも増して大切なことは子供の内心に入つて行つた精神生活の上の連絡といふことであります。それから又教育の方法の上に於ての連絡といふやうなこと

も何うも度外に置かれて居るやうであります、それとても大いに考へなければならぬことでありまして、我々はむしろ同じ方針で終始一貫した教育方法を探つて行きたいと思ふのであります、何よりも子供の精神生活をなめらかに發展させて行くやうに萬事が計畫されることが望しいのであります。(文責在記者)

京阪神三市聯合保育會

京阪神三市聯合保育會にては六月九日午前九時より兵庫縣立神戸高等女學校に於て第二十五回の會合を催す等。

一、報 告

- (一) 身體検査ニ付キテ 京都市保育會幹事
- (二) 道德意識ノ調査 神戸市保育會幹事

一、講 演

- (一) 感情作用ヲ手段トシテノ幼兒養育ノ一面

一、研 究 題

文學士 檜崎淺太郎氏
京都保育會提出

- (一) 幼兒ニ文字ヲ教フルノ可否
- (二) 幼兒ノ注意力ノ正當ナル發達ヲ害スル事ナカラン爲ニ又ソノ發達ヲ誘導スル爲ニ幼稚園ニ於テ如何ナル注意ヲ要スベキヤ
- 又ソノ爲ニ特ニ有効ナル方法アリヤ(神戸市保育會提出)

(以下略)